



どうかんがえる？

物価高・増税・軍拡

南西諸島への自衛隊配備・強化

飯島滋明（名古屋学院大学／憲法学・平和学）

アメリカの要求？
軍事費大増額？

南西諸島の
軍事化？

沖縄島

2017年

南西航空混成団を
南西航空方面隊に増強

- 陸自旅団を師団に【増強計画】

2023年度

ミサイル部隊
【勝連分屯地に配備計画】

- 弾薬庫
【沖縄弾薬庫に新設計画】

奄美大島

2019年

警備部隊・ミサイル部隊
(約600人)

2022年 電子戦部隊

- 弾薬庫は将来的に8棟に

宮古島

2019年 警備部隊・ミサイル部隊配備(約800人)

- 電子戦部隊【新設計画】



与那国島

2016年

沿岸監視部隊配備(約160人)

2022年

空自分遣隊配備(約20人)

2023年度

電子戦部隊配備(約40人)

- 地対空ミサイル部隊
【配備計画】

- 司令部の地下化【計画】

石垣島

2023年

警備部隊・ミサイル部隊配備
(約600人)

アメリカの要求に基づく 南西諸島の自衛隊配備・強化

南西諸島への自衛隊配備・強化は日本を守るためにと思われるかもしれません。しかし実際には南西諸島への自衛隊配備・強化はアメリカの要求に基づき、アメリカの軍事戦略の一端を担う基地建設・強化です。2006年から2009年まで沖縄総領事であったケビン・メアは、「日本最南端の与那国島から台北までは110キロにすぎず、台湾海峡有事の際は戦略拠点の一つとなる」(『決断できない日本』126頁)として、南西諸島の軍事化を求めてきました。その後、与那国島、石垣島、宮古島、奄美大島の軍事化が進められてきました。

アメリカの要求に基づく 軍事費大増額

2022年12月、岸田自公政権は「安保3文書」で軍事費の大増額を決定しました。国内防衛産業・財界の意向だけでなく、この軍事費大増額もアメリカの要求です。トランプ大統領は安倍首相に軍事費増額を要求しました。その結果、たとえば安倍首相はグローバルホークのような使えない兵器を大量に買わされました。バイデン大統領はGDP比2%、年間約5兆円もの軍事費増額を岸田首相に要求しました。その結果、「安保3文書」で軍事費を5年間で約43兆円にまで増額させる決定をしました。南西諸島の自衛隊配備・強化はこうした軍事費大増額に基づき進められています。

選挙に行き、 意志表示をしましょう

今まで紹介したように、アメリカの要求で自衛隊が南西諸島に配備・強化されてきました。ベトナム戦争時のラオスのモン族のように、アメリカは自国の戦争で他国の兵士を代わりに戦わせてきました。有事になれば南西諸島が戦場にされ、アメリカの代わりに自衛隊が戦わざる危険性が生じます。アメリカの代理戦争のため、日本の軍事費は大増額されました。南西諸島での自衛隊配備・強化、そのための軍事費大増額を実施・支持してきた自民党、公明党、日本維新の会、国民民主党に対し、私たちは主権者として選挙に行き、意志表示をすることが大切です。

Do-KANGAERU? Do THINK!



戦争をさせない
1000人委員会
Anti-War Committee of 1000

増税・軍拡に
NO!

くわしくは <http://www.anti-war.info/shomei/>

平和といのちを大切にする
政治へと変えるため、
署名へのご協力を!

